

「フィデューシャリー・デューティー」への取組状況

—2024年度—

ほくほくフィナンシャルグループ（ほくほくFG）の北陸銀行、北海道銀行、ほくほくTT証券は、「地域共栄」「公正堅実」「進取創造」を経営理念とし、地域社会・お客さまとともに発展していくために、お客さまの資産運用・資産形成にかかわる業務について、『「フィデューシャリー・デューティー」への取組方針』のもと、お客さまに最適な金融サービスの提供を行っております。

2024年度の各取組方針に係る取組状況を成果指標とともにご案内いたします。なお、2025年4月1日に『「フィデューシャリー・デューティー」への取組方針』を改定しておりますが、2024度の取組状況では改定前の基本方針・取組方針を記載しております。

<ほくほくFG共通の「フィデューシャリー・デューティー」への取組みに関する基本方針>

1. 資産運用・資産形成へのご支援 ～[P.2](#)
2. 最適な金融サービスの提供 ～[P.12](#)
3. 情報提供の充実 ～[P.17](#)
4. 手数料のわかりやすい説明 ～[P.17](#)
5. ガバナンス体制の徹底 ～[P.20](#)

取組方針 1. 資産運用・資産形成へのご支援

「地域共栄」「公正堅実」「進取創造」の経営理念のもと、お客さまのニーズ、ライフステージに応じた最適なお提案を実践していくことで、金融サービスの提供を通じて、地域経済・社会の安定的発展やお客さまの資産運用・資産形成に貢献してまいります。

実施事項

- (1) 倫理観をもってお客さまの最善の利益を図るために、「お客さまのニーズ、ライフステージに応じた最適なお提案を実践」し、「コンサルティング機能強化によりお客さまの資産形成、ポートフォリオ構築に貢献」することで、お客さまの資産運用・資産形成を支援してまいります。
- (2) 経営陣を中心とする「フィデューシャリー・デューティー推進委員会」が主体となって、グループ全体でお客さまに最善の利益を提供する体制づくりを行ってまいります。
- (3) お客さまアンケートや外部のご意見も参考にしながら、「フィデューシャリー・デューティー」への考え方や取組みが、グループ職員全員に定着しているか確認し、向上に努めてまいります。

(1) 主な実施事項

① 「中期経営計画」と「お客さまの最善の利益」について

中期経営計画の重点戦略として「総合的なコンサルティング対応力の向上」を掲げ、お客さまの最善の利益の実現を目指すため、「現役層（資産形成ニーズ）」「リタイアメント層（資産運用ニーズ）」「高齢層／富裕層（資産承継ニーズ）」それぞれのライフステージに応じた最適なお提案の実践に取り組んでいます。

② 全職員へのフィデューシャリー・デューティー（以下「FD」といいます）意識の醸成について

金融商品・サービスを提供する職員のみならず、全店長会議および管理職以上の職員を対象とした各種研修により、組織としてのFDの実践、経営戦略とFDとの一体となった業務運営について周知、啓蒙を徹底しております。

③ 経営陣によるFDへの深い関与

ほくほくフィナンシャルグループ全体でお客さまに最善の利益を提供する体制づくりを行うため、経営陣を中心とした「FD推進委員会」にて、定期的に議論を重ねています。

◀ 「FD推進委員会」における決定事項 ▶

- ・ 外貨建生命保険（目標値設定型）の対象商品・フォロー体制の見直し
- ・ FDの浸透度合いと阻害要因を確認するために従業員向けFDアンケートを昨年に続き実施
- ・ 銀証連携にかかる紹介基準の見直しを実施。資産ニーズを持つお客さまへの連携した提案体制を構築

④ お客さま、外部機関のご意見について

- ・ 北陸銀行、北海道銀行、ほくほくTT証券の3社（以下「グループ3社」といいます）でNPS®*アンケートを実施し、顧客本位の業務運営の定着状況についてお客さまからご意見を頂戴しました。アンケート結果は職員にフィードバックし、今後の営業活動の改善に活かしてまいります。
- ・ また、グループ3社で株式会社格付投資情報センター（R&I）による「顧客本位の金融商品販売評価」による外部評価を通して、お客さま本位の業務運営態勢の確認、改善に努めています。

* 「NPS®(Net Promoter Score®)」とは、お客さまが企業のブランドや商品・担当者に高い関心を持ち、「知人やご家族にどの位勧めたいと思うか」を数字に表したものです。高い評価を獲得するにはお客さまの担当者へ対する信頼や安心感が不可欠となります。ネット・プロモーター、ネット・プロモーター・システム、ネット・プロモーター・スコア、NPS、そしてNPS関連で使用されている顔文字は、ペイン・アンド・カンパニー、フレッド・ライクヘルド、NICE Systems, Inc.の登録商標又はサービスマークです。

取組方針 1. 資産運用・資産形成へのご支援

「地域共栄」「公正堅実」「進取創造」の経営理念のもと、お客さまのニーズ、ライフステージに応じた最適なお提案を実践していくことで、金融サービスの提供を通じて、地域経済・社会の安定的発展やお客さまの資産運用・資産形成に貢献してまいります。

(2) お客さまアンケートの実施

- ほくほくフィナンシャルグループはお客さまの声に真摯に耳を傾け、より良いサービスのご提供・商品のご案内に役立てるため、資産運用のお取引をいただいているお客さまへのアンケート調査を実施しております。アンケートについては、NPS®を活用しております。
- 2023年度からほくほく T T 証券もNPS®によるお客さまアンケートを実施しております。今後もグループ全体で業務改善に取組み、高い評価をいただけるよう努めてまいります。

〈お客さまアンケート“NPS®”の結果〉

- 2024年度の調査は、2024年7月から2024年11月中にグループ3社で金融商品のご購入取引をいただいたお客さまを対象として実施いたしました。
- 北陸銀行・北海道銀行では「渉外担当者の交代」に関連したご意見を多くいただきました。お客さまに安心してご利用いただける営業体制を整えてまいります。
- ほくほく T T 証券では、「専門的アドバイスやフォロー」へのご要望を多くいただきました。情報提供の強化と、銀行と連携したサービスの向上に努めてまいります。

【2024年度アンケートのNPS®結果】

北陸銀行
郵送先数：5,867名
回答者数：1,093名
NPS® : **23.4**

北海道銀行
郵送先数：4,684名
回答者数：1,021名
NPS® : **21.0**

ほくほく T T 証券
郵送先数：1,000名
回答者数：257名
NPS® : **▲2.3**

【過年度実施したNPS®結果推移】

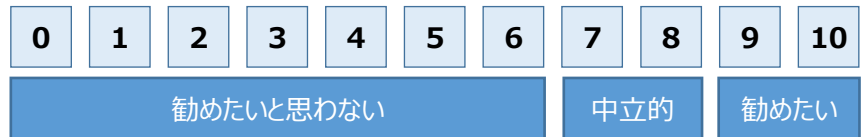
北陸銀行
NPS®結果
2022年度
28.1
2023年度
23.1
2024年度
23.4

北海道銀行
NPS®結果
2022年度
28.1
2023年度
29.5
2024年度
21.0

ほくほく T T 証券
NPS®結果
2022年度
-
2023年度
▲18.8
2024年度
▲2.3

〈NPS®の算出方法〉

質問 ご家族や友人から相談を受けた場合、担当者を勧めたいと思いますか？
10点満点でお聞かせ下さい



- 9-10は推奨する立場。7-8は中立的な立場。6以下は推奨しない立場に分類し、「勧めたいと思う」お客さまの割合から「勧めたいと思わない」お客さまの割合を差し引いて算出。
- 分類上、6以下を「推奨しない立場」とするものであり、回答者の全てが「勧めたいと思わない」と意思表示している訳ではなく、肯定的なコメントも見られます。
- スコアは-100～+100の間で表示されます。

例) 回答者数：100人 勧めたい：50人 中立的：10人 勧めたいと思わない：40人

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{勧めたいと思う} \\ \text{お客さまの割合} \\ \text{(50\%)} \\ \hline \end{array} - \begin{array}{|c|} \hline \text{勧めたいと思わない} \\ \text{お客さまの割合} \\ \text{(40\%)} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{NPS®} \\ \text{(10)} \\ \hline \end{array}$$

取組方針 1. 資産運用・資産形成へのご支援

「地域共栄」「公正堅実」「進取創造」の経営理念のもと、お客さまのニーズ、ライフステージに応じた最適なお提案を実践していくことで、金融サービスの提供を通じて、地域経済・社会の安定的発展やお客さまの資産運用・資産形成に貢献してまいります。

(3) 「R&I 顧客本位の金融販売会社評価*」について

- ほくほくフィナンシャルグループは、お客さまの資産運用・資産形成にかかわる業務について、中立的な第三者の評価をうけるため、株式会社格付投資情報センター（R&I）が行う「R&I 顧客本位の金融商品販売評価」を受けました。
- 本評価は、投資信託等を販売する会社が、いかに金融商品販売において「顧客本位の業務運営」を行っているか、その取組方針や取組状況を依頼に基づき、中立的な第三者の立場から評価します。資産形成のコアとなる投信・ファンドラップ販売を主軸としますが、他のリスク性金融商品も含め顧客のライフプランに相応しい金融商品を適切に提案・販売をしているかを評価します。資産形成に取り組む個人投資家が販売会社を選ぶ際に、この評価を参考指標として利用することを想定しています。
- 2024年度の評価として、北陸銀行および北海道銀行は「S+」を、ほくほくTT証券は「S」を取得しました。
- ほくほくフィナンシャルグループは、今後ともお客さまに選ばれる総合金融グループを目指して「お客さま本位の業務運営」を実施してまいります。

〈「R&I 顧客本位の金融商品販売評価」の結果〉

<https://www.r-i.co.jp/investment/products/fd/index.html>



※評価は上からSSS、SS、S、A、B、Cの6段階。「SS」、「S」、「A」については、上位評価に近いものに「+」の表示をします。

* 「R&I 顧客本位の金融販売会社評価」は、投信販売業務を行う金融事業者の「顧客本位の業務運営」に関するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。十分信頼できると判断される情報源からの情報に基づき評価を実施していますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。この評価情報の利用によって何らかの損害が発生した場合、その原因がいかなるものであれ、R&Iは一切の責任を負わないものとします。R&I 顧客本位の金融販売会社評価はR&I 投信定性評価・定量評価レーティングとはそれぞれ独立のものであり、互いの評価に影響を与えるものではありません。R&I 顧客本位の金融販売会社評価の業務は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。

取組方針 1. 資産運用・資産形成へのご支援

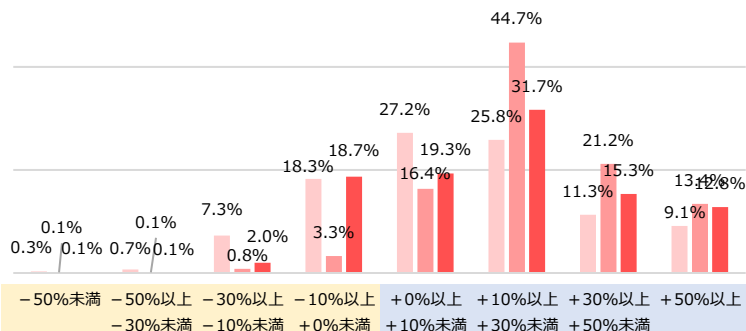
「地域共栄」「公正堅実」「進取創造」の経営理念のもと、お客さまのニーズ、ライフステージに応じた最適なお提案を実践していくことで、金融サービスの提供を通じて、地域経済・社会の安定的発展やお客さまの資産運用・資産形成に貢献してまいります。

(4) 投資信託・ファンドラップの運用損益区分別のお客さま割合 **共通KPI***

- 2024年度は米国の経済政策・金融政策を背景とした不安定な相場展開により、運用損益がプラスのお客さまの割合が前年度比減少しました。
- ほくほくTT証券のファンドラップは2024年7月から新規販売を再開しております。運用1年以内のお客さまの多くはマイナスリターンとなりましたが、運用期間5年以上のお客さまの運用損益は全員プラスを維持しております。

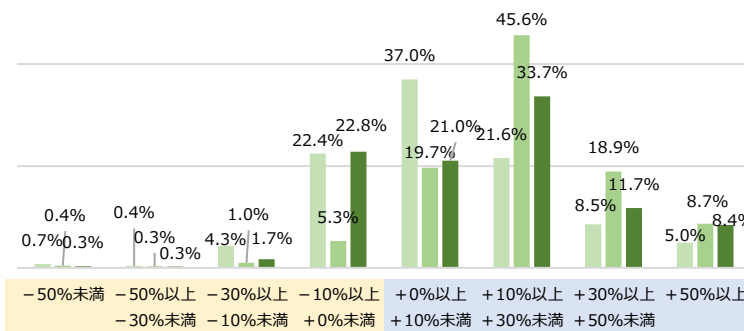


2023年3月末 2024年3月末 2025年3月末



運用損益がプラスの個人のお客さま割合
2023年3月末
73.5%
2024年3月末
95.7%
2025年3月末
79.1%

2023年3月末 2024年3月末 2025年3月末

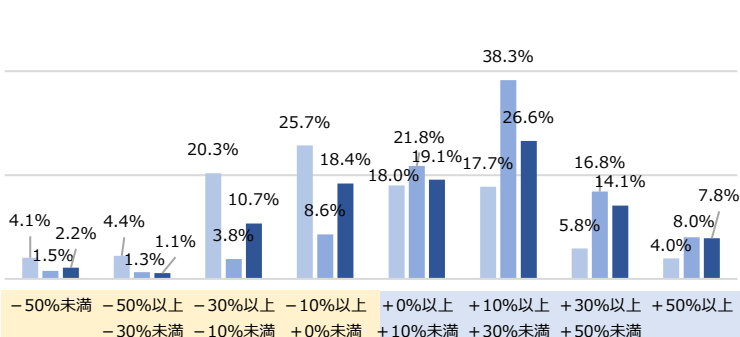


運用損益がプラスの個人のお客さま割合
2023年3月末
72.1%
2024年3月末
92.9%
2025年3月末
74.9%



【投資信託】

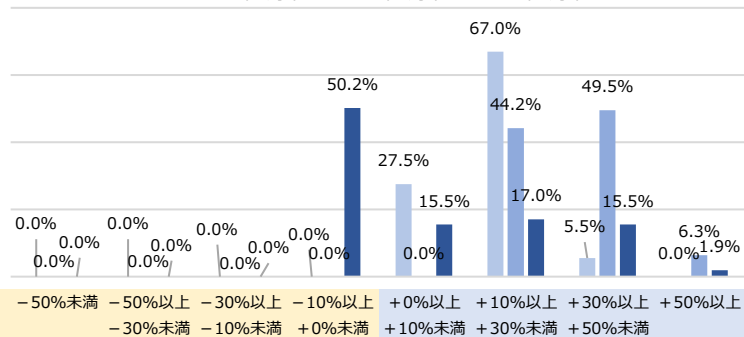
2023年3月末 2024年3月末 2025年3月末



運用損益がプラスの個人のお客さま割合
2023年3月末
45.5%
2024年3月末
84.9%
2025年3月末
67.6%

【ファンドラップ】

2023年3月末 2024年3月末 2025年3月末



運用損益がプラスの個人のお客さま割合
2023年3月末
100.0%
2024年3月末
100.0%
2025年3月末
49.8%

＜算出方法＞ 基準日時点で投資信託およびファンドラップを保有している個人のお客さまを対象とし、投資信託のトータルリターン通知制度に基づくトータルリターンを基準日時点の評価金額で除して算出。(ETF、上場REIT、公社債投信、私募投信、確定拠出年金で買い付けた投資信託は含まず)・外貨建投資信託の評価は、基準日時点の三菱UFJ銀行が提示する公示レートを適用して算出。

*共通KPI：金融庁が定める「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」～金融事業者の取組状況を総合的に判断するための、金融事業者間の比較可能かつ端的な指標

取組方針 1. 資産運用・資産形成へのご支援

「地域共栄」「公正堅実」「進取創造」の経営理念のもと、お客さまのニーズ、ライフステージに応じた最適なお提案を実践していくことで、金融サービスの提供を通じて、地域経済・社会の安定的発展やお客さまの資産運用・資産形成に貢献してまいります。

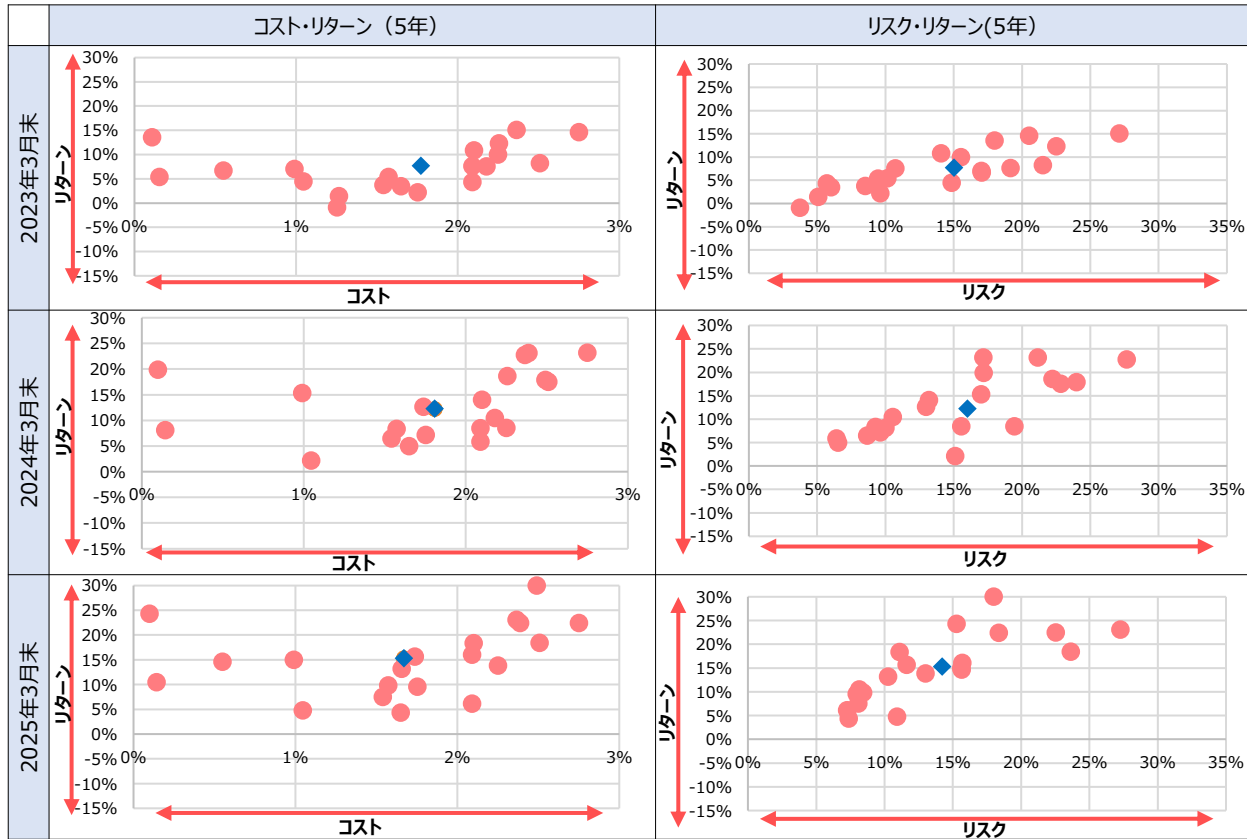
(5) 北陸銀行 – 投資信託の預り資産残高上位20銘柄のリスク・リターン、コスト・リターン 共通KPI

- 投資信託の販売手数料（コスト）は、原則としてリスクおよび職員の商品説明の負荷に応じて設定をしております。
- リスク/リターンには概ね相関が認められます。今後もお客さまのリスク許容度に応じたリターンを提供できるラインナップを整備してまいります。

◆【残高加重平均値】

	2023年3月末	2024年3月末	2025年3月末	前年比
コスト	1.77%	1.81%	1.67%	-0.14
リターン	7.68%	12.25%	15.29%	+3.04
リスク	15.04%	16.03%	14.23%	-1.80

- 対象銘柄 預り資産残高20銘柄（設定後5年以上）（DC専用、ファンドラップ専用投信、ETF、上場REIT、公社債投信、私募投信、外貨建投信は除き、単位型・限定追加型は含む）
- 算出方法 <コスト>販売手数料の1/5と信託報酬率の合計。<リターン>過去5年間のトータルリターン（年率換算）<リスク>過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）
※上記数値は過去の実績であり、将来における投資信託のリターン、リスクをお約束するものではありません。



2025年3月末時点の投資信託預り資産残高上位20銘柄 (単位: 百万円)

順位	銘柄名/運用会社	資産区分	決算頻度	預り残高
1	ビクテ・グローバル・インカム株式ファンド (毎月分配型) ビクテ・ジャパン	海外株式	毎月	14,205
2	ラサル・グローバルREITファンド (毎月分配型) 日興アセットマネジメント	海外REIT	毎月	11,519
3	のむラップ・ファンド (普通型) 野村アセットマネジメント	内外複合	年1回	8,253
4	MHAM株式インデックスファンド225 アセットマネジメントOne	国内株式	年1回	8,119
5	たわらノード バランス (8資産均等型) アセットマネジメントOne	内外複合	年1回	7,422
6	たわらノード 先進国株式 アセットマネジメントOne	海外株式	年1回	7,350
7	netWIN GSテクノロジー株式ファンド Bコース(為替ヘッジなし) ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント	海外株式	年2回	5,910
8	アライアンス・バースタイン・米国成長株投信 Dコース アライアンス・バースタイン	海外株式	毎月	5,878
9	グローバルAIファンド 三井住友DSアセットマネジメント	内外株式	年1回	5,002
10	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド 三井住友トラスト・アセットマネジメント	内外株式	年1回	4,790
11	のむラップ・ファンド (積極型) 野村アセットマネジメント	内外複合	年1回	4,335
12	ニッセイ高金利国債ファンド (愛称: スリーポイント) ニッセイアセットマネジメント	海外債券	毎月	4,190
13	日経225ノードオープン アセットマネジメントOne	国内株式	年1回	3,785
14	MHAM-J-REITインデックスファンド (毎月決算型) アセットマネジメントOne	国内REIT	毎月	3,512
15	ニッセイ/バトナム・インカムオープン ニッセイアセットマネジメント	海外債券	年4回	3,228
16	DIAM/バップ資産分散ファンド (愛称: 三本の矢) アセットマネジメントOne	内外複合	年6回	2,711
17	高成長インド・中型株式ファンド 三井住友DSアセットマネジメント	海外株式	年4回	2,598
18	のむラップ・ファンド (やや積極型) 野村アセットマネジメント	内外複合	年1回	2,592
19	世界銀行債券ファンド (毎月分配型) 日興アセットマネジメント	海外債券	毎月	2,519
20	フィデリティ・ワールド好配当株・ファンド フィデリティ・投資	内外株式	年4回	2,307

取組方針 1. 資産運用・資産形成へのご支援

「地域共栄」「公正堅実」「進取創造」の経営理念のもと、お客さまのニーズ、ライフステージに応じた最適なお提案を実践していくことで、金融サービスの提供を通じて、地域経済・社会の安定的発展やお客さまの資産運用・資産形成に貢献してまいります。

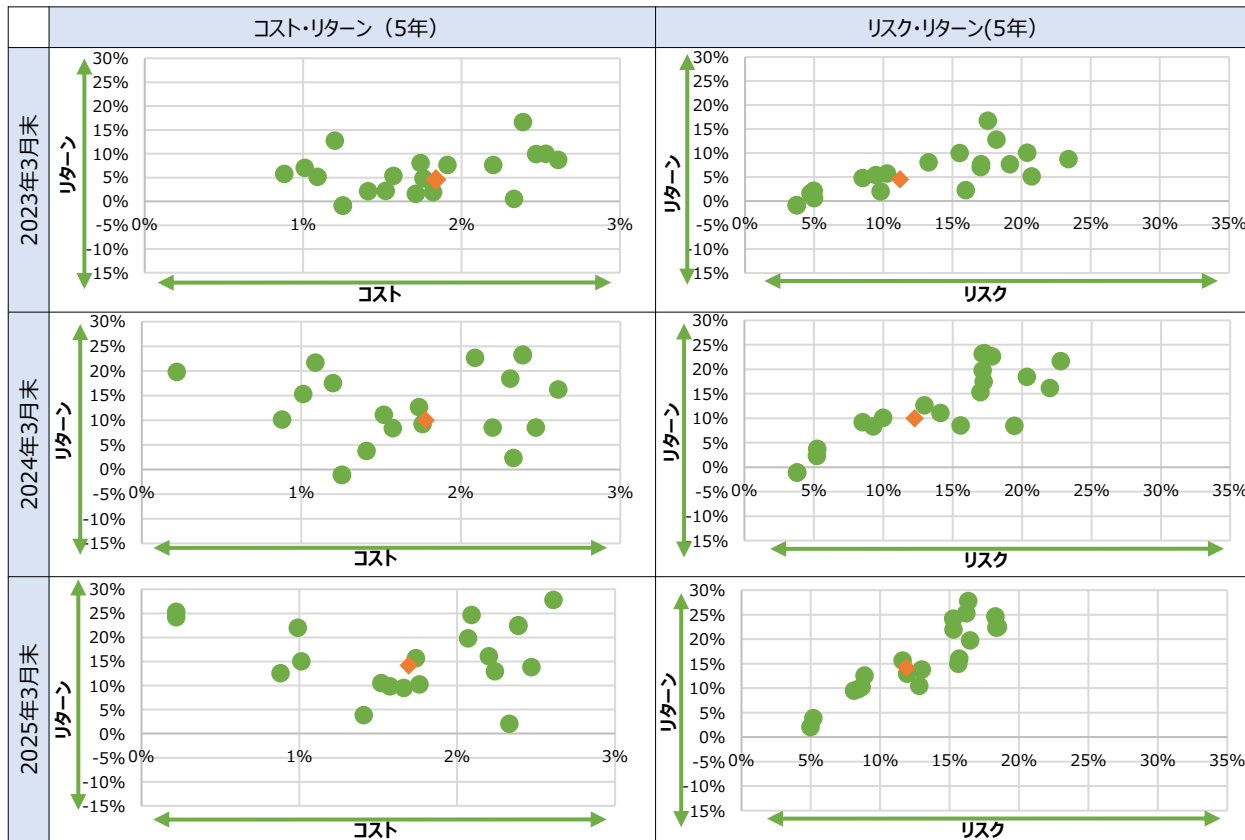
(6) 北海道銀行 – 投資信託の預り資産残高上位20銘柄のリスク・リターン、コスト・リターン 共通KPI

- 投資信託の販売手数料（コスト）は、原則としてリスクおよび職員の商品説明の負荷に応じて設定をしております。
- リスク/リターンには概ね相関が認められます。今後もお客さまのリスク許容度に応じたリターンを提供できるラインナップを整備してまいります。

◆【残高加重平均値】

	2023年3月末	2024年3月末	2025年3月末	前年比
コスト	1.84%	1.78%	1.69%	-0.09
リターン	4.52%	9.97%	14.13%	+4.16
リスク	11.22%	12.28%	11.90%	-0.38

- 対象銘柄 預り資産残高20銘柄（設定後5年以上）（DC専用、ファンドラップ専用投信、ETF、上場REIT、公社債投信、私募投信、外貨建投信は除き、単位型・限定追加型は含む）
- 算出方法 <コスト>販売手数料の1/5と信託報酬率の合計。<リターン>過去5年間のトータルリターン（年率換算）<リスク>：過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）
※上記数値は過去の実績であり、将来における投資信託のリターン、リスクをお約束するものではありません。



2025年3月末時点の投資信託預り資産残高上位20銘柄 (単位：百万円)

順位	銘柄名/運用会社	資産区分	決算頻度	預り残高
1	ビクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド ビクテ・ジャパコ	内外複合	年1回	12,441
2	のむらっぴ・ファンド (普通型) 野村アセットマネジメント	内外複合	年1回	10,535
3	ひふみプラス レオス・キャピタル・ワークス	内外株式	年1回	8,750
4	のむらっぴ・ファンド (積極型) 野村アセットマネジメント	内外複合	年1回	7,327
5	(年3%目標払出) のむらっぴ・ファンド (普通型) 野村アセットマネジメント	内外複合	年6回	6,609
6	SMTAMダウ・ジョーンズインデックスファンド 三井住友トラスト・アセットマネジメント	海外株式	年1回	5,901
7	ラサール・グローバルREITファンド (毎月分配型) 日興アセットマネジメント	海外REIT	毎月	5,649
8	ビクテ・グローバル・インカム株式ファンド(毎月分配型) ビクテ・ジャパコ	海外株式	毎月	5,616
9	つみたて米国株式 (S & P 5 0 0) 三菱UFJアセットマネジメント	海外株式	年1回	5,269
10	世界経済インデックスファンド 三井住友トラスト・アセットマネジメント	内外複合	年1回	5,211
11	インデックスファンド2 2 5 日興アセットマネジメント	国内株式	年1回	4,170
12	アライアンス・バースタイン・米国成長株投信 Dコース アライアンス・バースタイン	海外株式	毎月	3,927
13	イーストスプリング・インド株式オープン イーストスプリング・インベストメンツ	海外株式	年1回	3,714
14	フランクリン・テンブルトン グローバル・プラス (毎月分配型) フランクリン・テンブルトン	海外複合	毎月	3,514
15	ひふみワールド+ レオス・キャピタル・ワークス	海外株式	年1回	3,369
16	つみたて先進国株式 三菱UFJアセットマネジメント	海外株式	年1回	2,935
17	アライアンス・バースタイン・米国成長株投信 Bコース アライアンス・バースタイン	海外株式	年2回	2,531
18	フィデリティ・米国株式ファンドBコース (資産成長型・為替ヘッジなし) フィデリティ・投信	海外株式	年1回	2,447
19	東京海上・世界モノポリー戦略株式ファンド (毎月決算型) 東京海上アセットマネジメント	海外株式	毎月	2,422
20	のむらっぴ・ファンド (保守型) 野村アセットマネジメント	内外複合	年1回	2,319

取組方針 1. 資産運用・資産形成へのご支援

「地域共栄」「公正堅実」「進取創造」の経営理念のもと、お客さまのニーズ、ライフステージに応じた最適なお提案を実践していくことで、金融サービスの提供を通じて、地域経済・社会の安定的発展やお客さまの資産運用・資産形成に貢献してまいります。

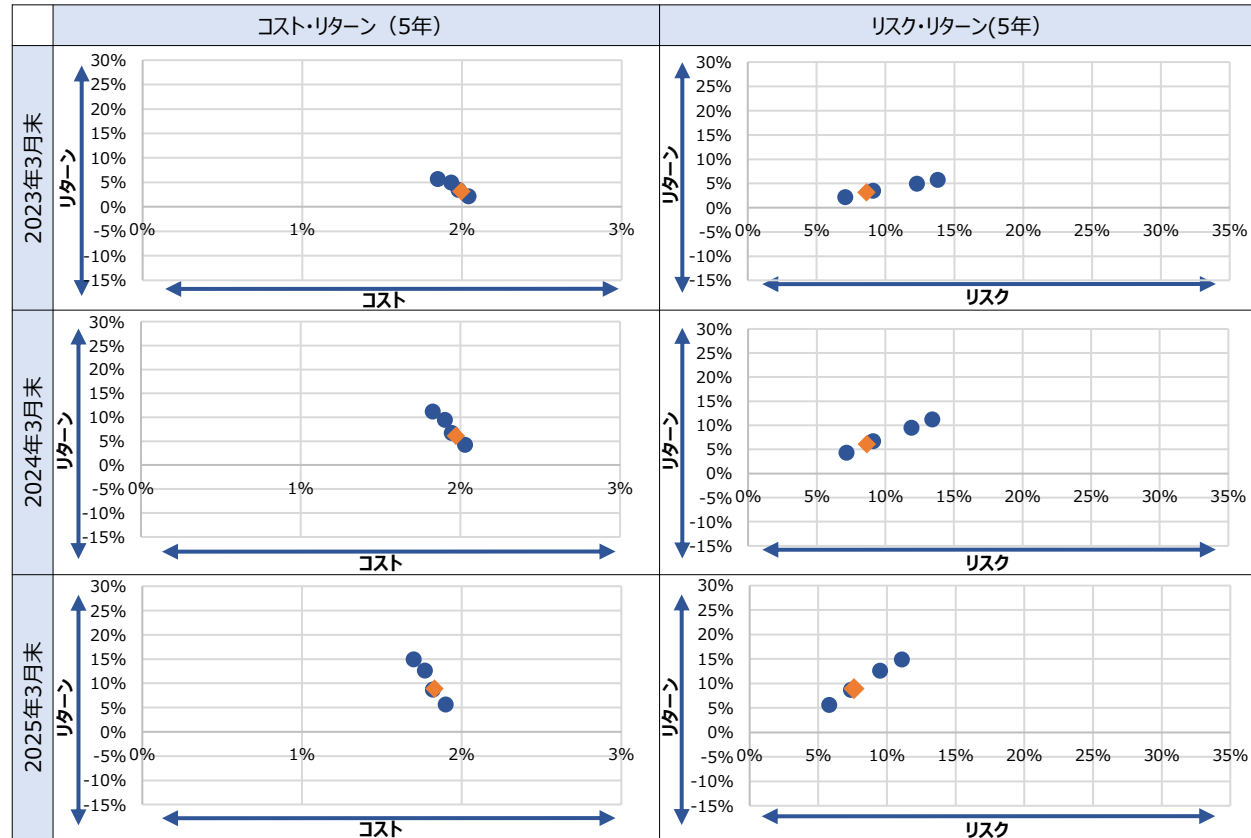
(8) ほくほくTT証券－ファンドラップのリスク・リターン、コスト・リターン 共通KPI

- ファンドラップのコストはお客さまが選択した運用コースなどに応じて設定されております。
- 内外株式の上昇や日米金利差を背景とした円安がリターン上昇要因となりました。

◆【残高加重平均値】

	2023年3月末	2024年3月末	2025年3月末	前年比
コスト	2.00%	1.97%	1.83%	-0.14
リターン	3.14%	6.06%	7.60%	+1.54
リスク	8.63%	8.66%	8.90%	+0.24

- 対象銘柄 ほくほくTT証券取扱いのファンドラップ全コース（設定後5年以上）
- 算出方法 <コスト>各時点におけるファンドラップ手数料及び投資顧問報酬、組入れ投信の信託報酬の合計
<リターン>ファンドラップ手数料及び投資顧問報酬、組入れ投信の信託報酬控除後の過去5年間の騰落率（年率換算）
<リスク>：過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）
※上記数値は過去の実績であり、将来における投資信託のリターン、リスクをお約束するものではありません。



2025年3月末時点の各コースの残高

(単位：百万円)

	銘柄名/運用会社	資産区分	預り残高
1	ファンドラップエクステンシブ型 (フィー控除後) 東海東京アセットマネジメント	内外 複合	204
2	ファンドラップ積極型 (フィー控除後) 東海東京アセットマネジメント	内外 複合	182
3	ファンドラップ中立型 (フィー控除後) 東海東京アセットマネジメント	内外 複合	149
4	ファンドラップ安定型 (フィー控除後) 東海東京アセットマネジメント	内外 複合	124

<ファンドラップのコストについて>

- ファンドラップのコストは、投資顧問報酬については「固定報酬型と成功報酬型」、信託報酬については「運用コース（組入投資信託）」によって異なります。
- リスクコントロールを行うため、オルタナティブ投信の組入比率が高い「安定型」のコストが相対的に高くなっています。

取組方針 1. 資産運用・資産形成へのご支援

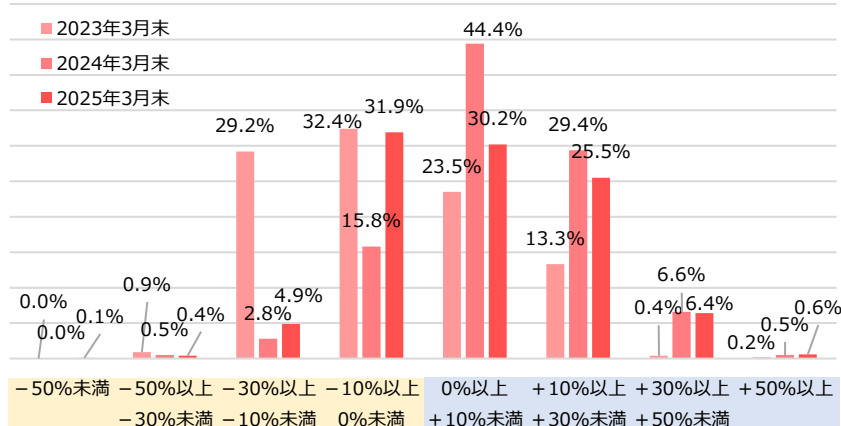
「地域共栄」「公正堅実」「進取創造」の経営理念のもと、お客さまのニーズ、ライフステージに応じた最適なお提案を実践していくことで、金融サービスの提供を通じて、地域経済・社会の安定的発展やお客さまの資産運用・資産形成に貢献してまいります。

(9) 外貨建保険の運用評価別のお客さま割合 共通KPI

- 2024年度は、海外金利情勢に大きな変動が無い一方で国内ではマイナス金利政策を終了し、その後利上げにも踏み切った結果円高が進み、運用損益がプラスのお客さまの割合が前年度比で低下しました。
- 長期にわたって必要な保障を継続していただけるよう、お客さまに契約内容、ご意向の確認などのフォローを適切に行ってまいります。



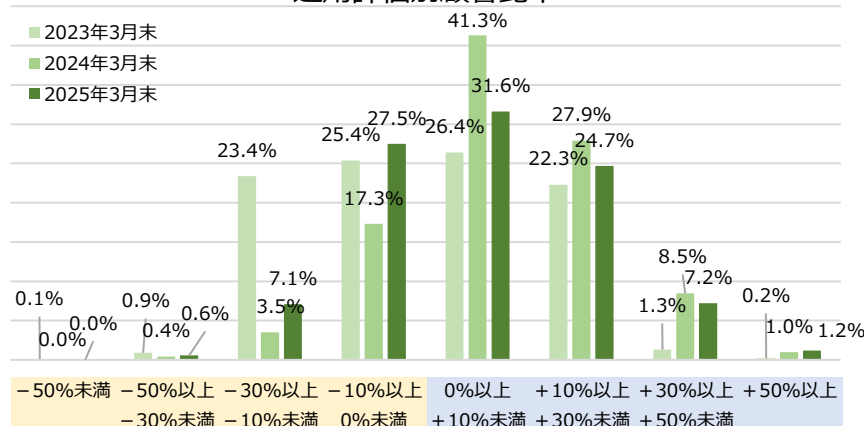
運用評価別顧客比率



	2023年3月末	2024年3月末	2025年3月末
運用損益がプラスの個人のお客さま割合	37.4%	80.9%	62.7%



運用評価別顧客比率



	2023年3月末	2024年3月末	2025年3月末
運用損益がプラスの個人のお客さま割合	50.2%	78.7%	64.7%

$$\text{※購入時以降のリターン (\%)} = \frac{\begin{matrix} +基準日の解約返戻金額+基準日の既支払金額 \\ \blacktriangle \text{契約時点の一時払保険料 (いずれも円換算)} \end{matrix}}{\text{契約時点の一時払保険料 (円換算)}}$$

- 外貨建保険は、保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としております。特に、契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払保険料を下回る場合があります。
- 解約返戻金は基準日時点の為替レートで円貨換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。

取組方針 1. 資産運用・資産形成へのご支援

「地域共栄」「公正堅実」「進取創造」の経営理念のもと、お客さまのニーズ、ライフステージに応じた最適なお提案を実践していくことで、金融サービスの提供を通じて、地域経済・社会の安定的発展やお客さまの資産運用・資産形成に貢献してまいります。

(10) 外貨建保険の残高上位20銘柄と銘柄別コスト・リターン割合 共通KPI

- お客さまにご購入いただいた外貨建保険の各銘柄（最大20銘柄）について、平均コスト*1と平均リターン*2をグラフ化しております。
- 海外金利情勢に大きな変動が無い環境下で円高が進んだことで、平均のリターンは前年度比で低下しました。



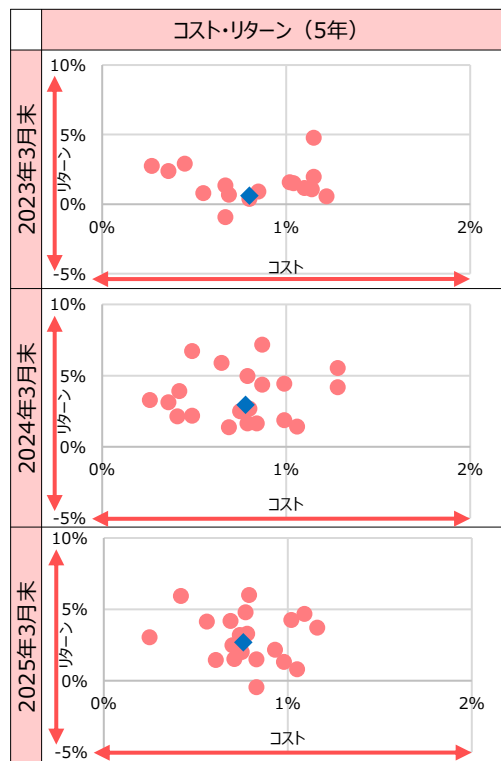
◆【残高加重平均値】

	2023年3月末	2024年3月末	2025年3月末	前年比
コスト	0.80%	0.78%	0.76%	-0.02
リターン	0.62%	2.95%	2.67%	-0.28



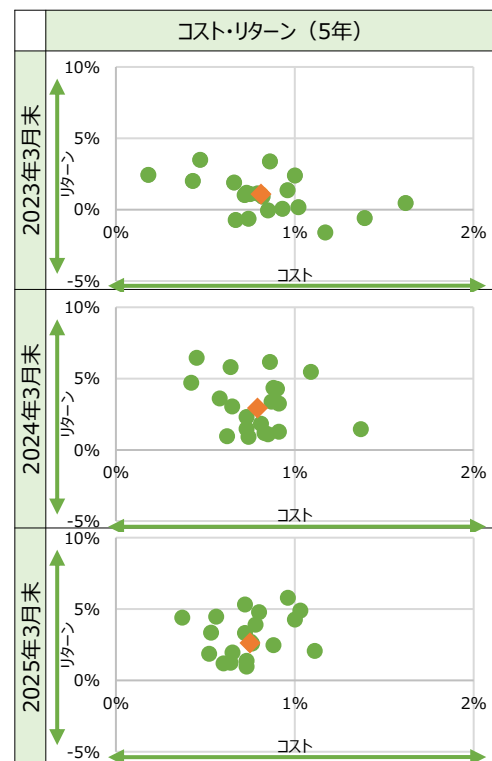
◆【残高加重平均値】

	2023年3月末	2024年3月末	2025年3月末	前年比
コスト	0.81%	0.79%	0.75%	-0.04
リターン	1.09%	2.93%	2.72%	-0.21



2025年3月末時点の外貨建保険
残高上位銘柄名と銘柄別コスト・リターン

No.	銘柄名	コスト	リターン
1	プレミアシップ (外貨建)	0.70%	2.48%
2	やさしさ、つなぐ	0.61%	1.46%
3	プレミアプレゼント	0.93%	2.16%
4	しあわせ、ずっと	0.71%	1.53%
5	サニーガーデンE X	1.09%	4.69%
6	夢のプレゼント	0.56%	4.14%
7	しあわせ、ずっと2	1.02%	4.26%
8	プレミアカレンシー・プラス2	0.74%	3.20%
9	外貨エブラス米	0.79%	6.01%
10	円貨エブラス米	0.75%	2.01%
11	アテナ	0.25%	3.04%
12	M y 年金外貨	0.42%	5.93%
13	えら終受け取る米	0.77%	4.79%
14	夢のプレゼント2	0.69%	4.18%
15	プレミアカレンシー 3	0.83%	-0.46%
16	あしたの、よろこび	1.16%	3.71%
17	あしたの、よろこび2	1.05%	0.80%
18	外貨エブラス豪	0.78%	3.30%
19	プレミアジャンプ3・年金 (外貨建)	0.98%	1.32%
20	ロングドリームGOLD	0.83%	1.50%
加重平均		0.76%	2.67%



2025年3月末時点の外貨建保険
残高上位銘柄名と銘柄別コスト・リターン

No.	銘柄名	コスト	リターン
1	やさしさ、つなぐ	0.60%	1.18%
2	サニーガーデンE X	1.03%	4.89%
3	ふるはーとJロードグローバル	0.78%	3.89%
4	たのしみ、ずっと	0.65%	1.94%
5	プレミアプレゼント	0.88%	2.47%
6	しあわせ、ずっと	0.64%	1.24%
7	プレミアストーリー2	0.72%	3.31%
8	ファイブ・ステップU S	0.37%	4.38%
9	ロングドリームGOLD	0.73%	1.37%
10	しあわせ、ずっと2	1.00%	4.25%
11	ふるはーとJグローバルII	1.11%	2.05%
12	夢のプレゼント	0.56%	4.46%
13	ロングドリームプラス	0.53%	3.33%
14	プレミアカレンシー・プラス2	0.52%	1.86%
15	外貨エブラス豪	0.75%	2.61%
16	外貨エブラス米	0.72%	5.30%
17	円貨エブラス豪	0.73%	0.97%
18	えら終受け取る米	0.80%	4.77%
19	たのしみグローバル (指数)	0.96%	5.78%
20	生プレワールド5	0.76%	2.58%
加重平均		0.75%	2.72%

*1 基準日に5年以上保有している契約について、各契約の新契約手数料率と継続手数料率（支払累計）の合計値を契約期間（経過月数）で年率換算したものを、各契約の一時払保険料で加重平均

*2 基準日に5年以上保有している契約について、各契約の契約時点の一時払保険料に対する、基準日時点の解約返戻金額 + 基準日までの既支払金額の増加率を年率換算したものを、各契約の一時払保険料で加重平均

取組方針 2 .最適な金融サービスの提供

1. 「北陸銀行」、「北海道銀行」に加え、証券会社である「ほくほくTT証券」の商品・サービスを活用することなどで、お客様のニーズにお応えできるよう、利益相反にも留意しつつグループ全体で取り組んでまいります。
2. お客様のライフステージ、ライフプランを共有いただくことで、ご意向に沿った最適な金融サービス・商品の提案・提供を行い、契約後のアフターフォローも適切に続けてまいります。
3. インターネットなど、店頭以外のチャネルからお客様が便利にサービスを利用できるよう、改善・投資を行ってまいります。

実施事項

- (1) ほくほくフィナンシャルグループ各社との連携を通して、お客様の幅広い資産形成の目的にお応えできる情報提供・サービス態勢を整えてまいります。
- (2) お客様のライフプランの実現のため、対話を通じてお客様をよく知る（ニーズ、ライフステージ、資産形成に関する知識や経験など）を起点とした提案プロセスの品質向上を図ってまいります。
- (3) お客様の資産背景、投資経験、リスクへの考え方といったお客様のご意向に基づき、最適なお提案が行えるよう商品ラインナップの見直しを行ってまいります。
- (4) 銀行が取扱う保険商品については保障機能別のラインナップを取り揃えることにより、さまざまな将来の不測の事態へ備えるニーズへの提案が行えるようラインナップの見直しを行ってまいります。
- (5) 契約後の定期的なアフターフォローを、対面だけでなく非対面サービスも活用しながら、お客様のご要望に応じて行ってまいります。
- (6) お客様の生活様式に応じた金融サービスを提供できるよう、インターネットバンキング、銀行アプリ、各種非対面チャネル等の機能改善を行い、利便性を高めてまいります。

(1) 主な実施事項

① ほくほくTT証券の顧客紹介基準の見直しについて

- ・ お客様への最善の利益が図られるよう、銀行がほくほくTT証券を紹介する際は、お客様から「投資方針」「金融資産額」「投資経験」をお聞きして、証券会社ラインナップでの資産運用が適切かどうか確認させていただいております。
- ・ また、銀行と証券会社との連携強化を目的に、銀行では長期の資産形成に資するラインナップを中心に、証券会社ではより高いリターンに期待できる資産運用に資するラインナップを中心とするため、投資信託のラインナップを整備しております。

② 金融商品・サービスの提供会社との連携について

- ・ 「顧客本位の業務運営に関する原則」に追加された「プロダクトガバナンスに関する補充原則」を実践するため、グループとして金融商品・サービス提供会社と相互に情報連携を行い、適切に商品・サービスが提供されているか検証し、商品ラインナップの管理を適切に行う体制を整備してまいります。
- ・ また、金融商品・サービス提供会社のお客様本位の業務運営に係る取組内容を、お客様に提供する体制を整備してまいります。

取組方針 2. 最適な金融サービスの提供

1. 「北陸銀行」、「北海道銀行」に加え、証券会社である「ほくほくTT証券」の商品・サービスを活用することなどで、お客さまのニーズにお応えできるよう、利益相反にも留意しつつグループ全体で取り組んでまいります。
2. お客さまのライフステージ、ライフプランを共有いただくことで、ご意向に沿った最適な金融サービス・商品の提案・提供を行い、契約後のアフターフォローも適切に続けてまいります。
3. インターネットなど、店頭以外のチャネルからお客さまが便利にサービスを利用できるよう、改善・投資を行ってまいります。

(1) 主な実施事項

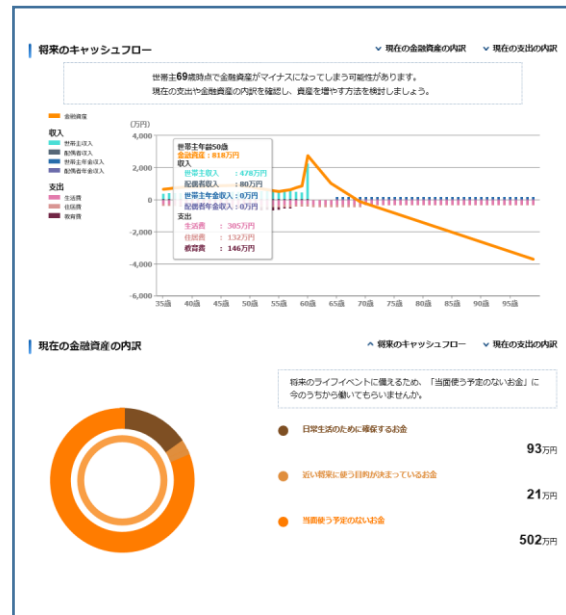
③ ゴールベースアプローチを実践する提案ツール、商品ラインナップの整備について

- 北陸銀行、北海道銀行では、お客さまのライフプランの実現のための目標（ゴール）を起点に考えて必要な資産運用・資産形成のご提案を行う「ゴールベースアプローチ」を行う提案ツール、簡単な質問から将来の必要額の目安を算出する「ライフプランシミュレーション」ツールを導入し、提案プロセスの向上を図っています。
- ほくほくTT証券ではファンドラップサービスを刷新し、「ゴールベースアプローチ」で運用プランの提案を行い、スタンダードな運用プランに、オーダーメイド性の高い「マイプライムセレクション」も加えて幅広いニーズにお応えする態勢を整えました。

【ゴールベースアプローチ（イメージ）】



【ライフプランシミュレーション（イメージ）】【ほくほくTT証券「ほくほくファンドラップ」】



取組方針 2 .最適な金融サービスの提供

1. 「北陸銀行」、「北海道銀行」に加え、証券会社である「ほくほくTT証券」の商品・サービスを活用することなどで、お客さまのニーズにお応えできるよう、利益相反にも留意しつつグループ全体で取り組んでまいります。
2. お客さまのライフステージ、ライフプランを共有いただくことで、ご意向に沿った最適な金融サービス・商品の提案・提供を行い、契約後のアフターフォローも適切に続けてまいります。
3. インターネットなど、店頭以外のチャンネルからお客さまが便利にサービスを利用できるよう、改善・投資を行ってまいります。

(1) 主な実施事項

④ 外貨建生命保険の対応について

- ・ 解約返戻金の目標設定ができるターゲット特約付外貨建保険の取り扱いについて、一部ラインナップの見直しを行い、保障を目的とした生命保険のターゲット特約商品を廃止いたしました。また、保険本来の機能を提供するのに適切な介護保障機能のラインナップを拡充しました。

⑤ 仕組預金の対応について

- ・ デリバティブ取引を内包した外貨仕組預金の「コスト・リターン」「リスク・リターン」分析を実施し、提供する想定顧客の見直しを行い、グループとして個人のお客さまへの提供の停止を決定いたしました。

⑥ お客さまへのフォローについて

- ・ 北陸銀行、北海道銀行では、ご高齢のお客さま、一定の運用損を抱えたお客さまを中心とした計画的なフォローを年度を通して行っております。
- ・ ほくほくTT証券では、一定期間に急激な価格変動のあった商品をお持ちのお客さまを対象に随時フォローを行っております。
- ・ 2024年8月5日に発生した日経平均株価の史上最大の値下げ時には、職員によるフォローのほか、動画による情報提供なども行い、グループ各社で多くのお客さまに対して資産運用の継続についてご案内いたしました。

⑦ 非対面サービスの機能向上について

- ・ 北陸銀行、北海道銀行では、現役世代を中心とするオンライン証券取引サービスを提供するため、SBI証券との金融商品仲介業務を開始いたしました。対面でのアドバイスに強みを持つほくほくTT証券とも引き続き連携して、幅広いニーズにお応えしていきます。

【オンライン金融商品仲介（SBI証券）】

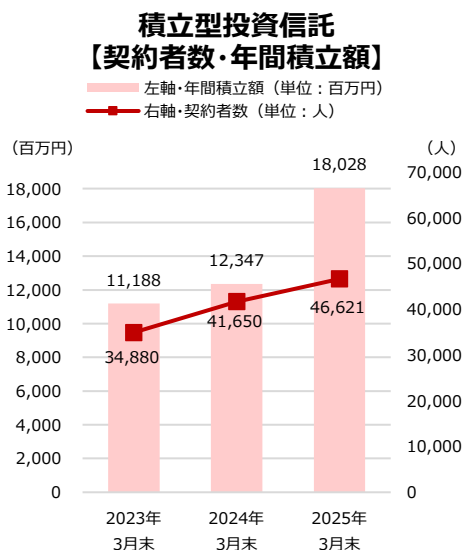


取組方針 2 . 最適な金融サービスの提供

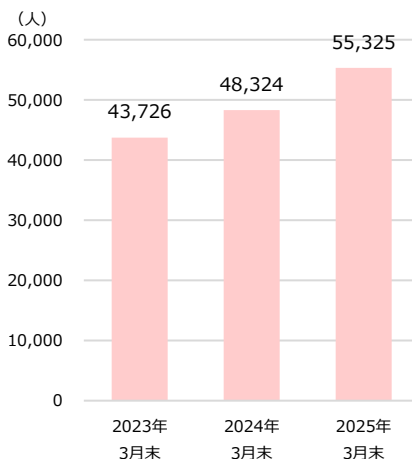
1. 「北陸銀行」、「北海道銀行」に加え、証券会社である「ほくほくTT証券」の商品・サービスを活用することなどで、お客さまのニーズにお応えできるよう、利益相反にも留意しつつグループ全体で取り組んでまいります。
2. お客さまのライフステージ、ライフプランを共有いただくことで、ご意向に沿った最適な金融サービス・商品の提案・提供を行い、契約後のアフターフォローも適切に続けてまいります。
3. インターネットなど、店頭以外のチャネルからお客さまが便利にサービスを利用できるよう、改善・投資を行ってまいります。

(2) 積立型投資信託契約者数・年間積立額/NISA利用者数

- お客さまに対し、主に中長期の資産形成に資する提案を実施しております。
- 北海道銀行では、時間分散によるリスク抑制を目的とした「分割購入」を終えたお客さまが増加したことから年間積立額は減少しておりますが、グループ3社ともに、NISAの利用を中心に積立型投資信託の契約者数は増加しております。

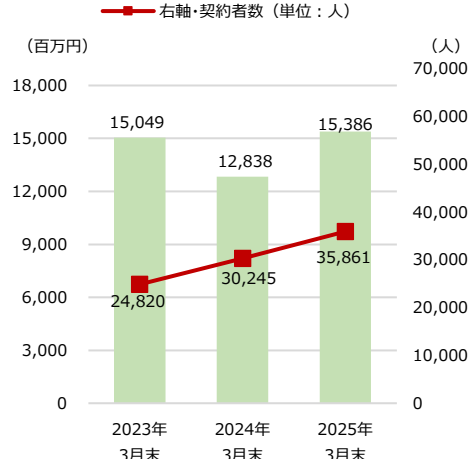


【NISA利用者数 (単位: 人)】

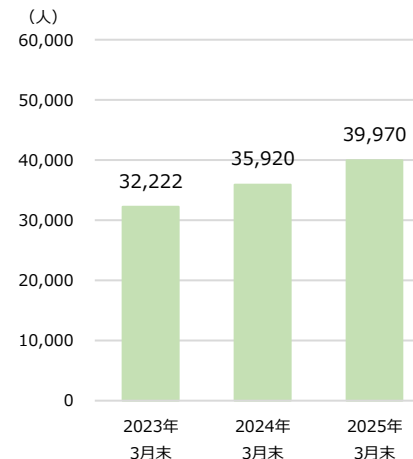


積立型投資信託
【契約者数・年間積立額】

左軸・年間積立額 (単位: 百万円)
右軸・契約者数 (単位: 人)



【NISA利用者数 (単位: 人)】



【NISA利用者数推移】

	2023年3月末	2024年3月末	2025年3月末
北陸銀行	43,726人	48,324人	55,325人
北海道銀行	32,222人	35,920人	39,970人
ほくほくTT証券	1,577人	1,796人	2,069人

※NISA利用者数: お取引残高が1円以上の利用者数

取組方針 2. 最適な金融サービスの提供

1. 「北陸銀行」、「北海道銀行」に加え、証券会社である「ほくほくTT証券」の商品・サービスを活用することなどで、お客さまのニーズにお応えできるよう、利益相反にも留意しつつグループ全体で取り組んでまいります。
2. お客さまのライフステージ、ライフプランを共有いただくことで、ご意向に沿った最適な金融サービス・商品の提案・提供を行い、契約後のアフターフォローも適切に続けてまいります。
3. インターネットなど、店頭以外のチャネルからお客さまが便利にサービスを利用できるよう、改善・投資を行ってまいります。

(3) 2024年度における投資信託の販売上位10銘柄 (単位：百万円)



インターネットバンキング取引では、市場動向に敏感な国内株式ファンドでの運用が中心となっています。積立運用によるNISA取引が増加するとともに、長期分散投資による資産形成に適したバランス型ファンドが選ばれる傾向が継続しています。

順位	ファンド名	運用会社名	資産区分	決算周期	販売金額	構成比
1	日経225ノーロードオープン	アセットマネジメントOne	国内株式	年1回	13,229	23.9%
2	アライアンス・バースタイン・米国成長株投信 Dコース (為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	アライアンス・バースタイン	海外株式	毎月	4,866	8.8%
3	たわらノーロード 先進国株式	アセットマネジメントOne	海外株式	年1回	2,934	5.3%
4	たわらノーロード バランス (8資産均等型)	アセットマネジメントOne	内外資産複合	年1回	2,355	4.3%
5	たわらノーロード S&P500	アセットマネジメントOne	海外株式	年1回	2,317	4.2%
6	インベスコ世界厳選株オープン (為替ヘッジなし) (毎月決算型) (愛称：世界のベスト)	インベスコ・アセット・マネジメント	内外株式	毎月	2,075	3.7%
7	のむらっぴ・ファンド (普通型)	野村アセットマネジメント	内外資産複合	年1回	2,019	3.6%
8	MHAM株式インデックスファンド225	アセットマネジメントOne	国内株式	年1回	1,909	3.4%
9	netWIN GSテクノロジー株式ファンドBコース (為替ヘッジなし)	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント	海外株式	年2回	1,669	3.0%
10	のむらっぴ・ファンド (積極型)	野村アセットマネジメント	内外資産複合	年1回	1,639	3.0%



お客さまのリスク許容度に合わせたバランス型のファンドのほか、リスクとリターンのバランスを図ることを目的に金が組み入れられたファンドが選ばれる傾向でした。積立によるNISA取引は、米国株式が中心となりました。

順位	ファンド名	運用会社名	資産区分	分配周期	販売金額	構成比
1	のむらっぴ・ファンド (普通型)	野村アセットマネジメント	内外・複合	年1回	3,187	7.8%
2	のむらっぴ・ファンド (積極型)	野村アセットマネジメント	内外・複合	年1回	3,057	7.5%
3	つみたて米国株式 (S & P 500)	三菱UFJアセットマネジメント	海外・株式	年1回	3,048	7.5%
4	ビクテ・ゴールデン・リスクプレミアム・ファンド	ビクテ・ジャパン	内外・複合	年1回	2,563	6.3%
5	アライアンス・バースタイン・米国成長株投信 Dコース	アライアンス・バースタイン	海外・株式	毎月	2,390	5.9%
6	GSグローバル社債ターゲット2024-09 (限定追加型)	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント	海外・債券	年1回	2,059	5.0%
7	世界経済インデックスファンド	三井住友トラスト・アセットマネジメント	内外・複合	年1回	1,758	4.3%
8	SMTAMダウ・ジョーンズインデックスファンド	三井住友トラスト・アセットマネジメント	海外・株式	年1回	1,468	3.6%
9	イーストスプリング・インド株式オープン	イーストスプリング・インベストメンツ	海外・株式	年1回	1,455	3.6%
10	(年3%目標払出) のむらっぴ・ファンド (普通型)	野村アセットマネジメント	内外・複合	年6回	1,440	3.5%



お客さまの多様なニーズに合わせて、銀行にはないラインナップを中心にインド株式ファンド、米国中心のグロース株ファンド、米ドル建て債券ファンド (外国投信) など、運用方針およびリスク許容度にあわせて、幅広く様々な投資対象のファンドをご提供しております。

順位	ファンド名	運用会社名	資産区分	分配周期	販売金額	構成比
1	ビクテ・バイオ医薬品ファンド(毎月決算型)為替ヘッジなしコース	ビクテ・ジャパン株式会社	内外・株式	毎月	1,814	9.0%
2	イーストスプリング・インド株式オープン	イーストスプリング・インベストメンツ株式会社	海外・株式	年1回	1,735	8.6%
3	イーストスプリング・インド株式ファンド (3ヵ月決算型)	イーストスプリング・インベストメンツ株式会社	海外・株式	年4回	1,681	8.4%
4	T & Dインド中小型株ファンド	T & Dアセットマネジメント株式会社	海外・株式	年2回	1,493	7.4%
5	米国株式配当貴族 (年4回決算型)	野村アセットマネジメント株式会社	海外・株式	年4回	1,484	7.4%
6	フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファンド Bコース (為替ヘッジなし)	フィデリティ投信株式会社	海外・株式	年1回	1,376	6.9%
7	フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファンド Dコース (毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジなし)	フィデリティ投信株式会社	海外・株式	毎月	1,115	5.6%
8	日本企業PBR向上ファンド	大和アセットマネジメント株式会社	国内・株式	年2回	1,112	5.5%
9	エイビー・アメリカン・インカム	アライアンス・バースタイン・インベストメンツ・エス・エイ・アール・エル	海外・債券	毎月	869	4.3%
10	野村世界業種別投資シリーズ (世界半導体株投資)	野村アセットマネジメント株式会社	内外・株式	年1回	651	3.2%

取組方針 3. 情報提供の充実

お客さまの投資経験や金融知識に応じて適切な情報提供を行うために、提供する金融サービスにおける重要な情報を分かりやすく説明できる体制を整備いたします。

実施事項

- (1) お客さまとの対話を通じ、ライフステージ・ライフプランをよく知るよう努めることで、お客さまのご意向に沿った提案を行います。パンフレットや各種ツールを活用した情報提供、お客さま向けセミナーの開催等により、お客さまのマネープランに応じた情報提供を行ってまいります。
- (2) 提供する金融商品の仕組みおよび想定するお客さまについて「重要情報シート」等を活用した情報提供を行ってまいります。
- (3) お客さまの理解度に応じた情報提供ができるよう、パンフレットや各種ツールの改善および向上に努めてまいります。

取組方針 4. 手数料のわかりやすい説明

お客さまの投資判断に資するため、商品ごとの手数料等について、お客さまにご理解いただけるように説明してまいります。

実施事項

- (1) 金融サービス・商品に係る手数料の対価を明確にし、「重要情報シート」等を用いて商品をまたぐ手数料比較をわかりやすく説明する体制を整えます。
- (2) 複数の取引方法が選べる場合、お客さまが納得してご選択いただけるよう、手数料の違いやそれぞれのメリット・デメリットを公平に比較したわかりやすい説明を行います。

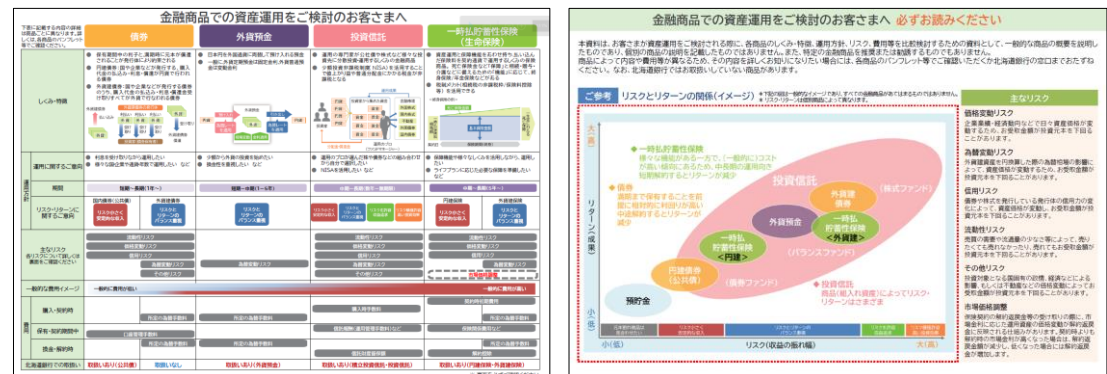
(1) 主な実施事項

① 金融商品比較表の提供について

北陸銀行・北海道銀行では種類の異なる金融商品を横断的に比較することができる「金融商品比較表」を作成し、重要情報シートの金融事業者編の付属資料として提供しています。

提供する各商品の一般的な仕組みや特徴、商品に伴うリスクなどについて分かりやすく説明しています。

【金融商品比較表】



取組方針 3. 情報提供の充実

お客さまの投資経験や金融知識に応じて適切な情報提供を行うために、提供する金融サービスにおける重要な情報を分かりやすく説明できる体制を整備いたします。

取組方針 4. 手数料のわかりやすい説明

お客さまの投資判断に資するため、商品ごとの手数料等について、お客さまにご理解いただけるように説明してまいります。

(1) 主な実施事項

② NISAへの取組みについて

北陸銀行・北海道銀行では地域金融機関として、より多くのお客さまに資産形成の手段としてNISAを知っていただくため、セミナーやパンフレットによる制度の周知とともに、NISA口座開設および一定条件の取引を行ったお客さまを対象に、現金進呈する「NISAプラン」を実施しております。

③ 対面型セミナーについて

お客さまの関心の高いテーマを取り扱った対面型セミナーを開催しております。投資家向けセミナーや市場の見通しに加えて、相続対策、NISAをテーマとしたセミナーによりお客さまへの情報提供を行っています（2024年度のセミナー開催状況については次頁をご覧ください）。

④ 職域セミナーについて

各営業店で、お取引のある法人の従業員さまを対象とした「職域セミナー」を実施しています。現役世代のお客さまの金融リテラシーの向上と、資産形成のご支援を行っています。

⑤ 重要情報シートについて

重要情報シートを活用して、お客さまに投資信託、外貨建生命保険などの複数種類の商品の、「想定顧客」「リスク」「手数料」などを比較検討いただけるよう整備しております。

⑥ ほくほくTT証券の目論見書電子交付について

2024年6月より、ほくほくTT証券では投資信託の目論見書の電磁的交付を開始しました。また、ほくほくTT証券のホームページでは目論見書のほか、目論見書補完書面、重要情報シートの閲覧も可能です。

【北陸銀行】ほくぎんNISAセミナー



【北海道銀行】北海道銀行×野村アセットマネジメント 資産運用セミナー



【ほくほくTT証券・北陸銀行】

桐谷広人氏セミナー「山あり谷あり、楽しい株主優待人生」



取組方針 3. 情報提供の充実

お客さまの投資経験や金融知識に応じて適切な情報提供を行うために、提供する金融サービスにおける重要な情報を分かりやすく説明できる体制を整備いたします。

取組方針 4. 手数料のわかりやすい説明

お客さまの投資判断に資するため、商品ごとの手数料等について、お客さまにご理解いただけるように説明してまいります。

(2) 2024年度のお客さまセミナーの開催状況



【投資信託セミナー（対面・オンデマンド）】

開催月	主なテーマ	講師
6月～7月	①NISAではじめる資産づくり -お得なNISA制度活用法- ②コツコツみたくて！賢いお金の育て方 -たわらノーロード&未来の世界で積立投資-	アセットマネジメントOne
11月～1月	①どうなる？米国大統領選挙後の世界経済 -「AB米国成長株投信」「AB米国割安株投信」運用報告- ②NISAを活用したコア・サテライト運用 -「のむらップ・ファンド」運用報告-	①野村アセットマネジメント ②アライアンス・ バーンスタイン

【ほくほくプラザ一番町セミナー（対面）】

開催月	主なテーマ	講師
4月	2024年のマーケット環境 ～NISA成長投資枠の活用法～	野村アセットマネジメント
5月	その退職金、どう資産形成しますか？ ～そなえる～	三井住友海上プライマリー生命
6月	その退職金、どう資産形成しますか？ ～ふやす～	あおぞら投信
7月	あなたの相続大丈夫？ ～相続失敗・成功事例～	辻・本郷税理士法人
8月	NISA活用術 ～2つの投資枠の使い分け～	アセットマネジメントOne
9月	あなたの相続大丈夫？ ～相続失敗・成功事例～	辻・本郷税理士法人
10月	相続は他人事ではありません ～今からできる対策とは？～	明治安田生命
11月	今からでも遅くない「NISA」を使った資産形成	レオス・キャピタルワークス
12月	円満な相続に向けて ～プロが語る相続の手引き～	日本クレアス税理士法人
1月	どう使う？2025年のNISA枠 ～マーケット見通しはいかに？～	三菱UFJアセットマネジメント
2月	人生100年時代 おかねのまもり方・そだて方・そなえ方	PGF生命
3月	資産運用について考えてみよう ～退職世代のこれから～	野村アセットマネジメント

【職域セミナー】 2024年度中、延べ1,138回の職域セミナーを実施しました。



【対面型】 銀行との共催で対面型セミナーを開催しています。

開催月	主なテーマ	講師
9月	①「大統領選を前にした米株市場の現状と今後の見通し」 ②「円満な相続と遺産分割のために」	東海東京インテリジェンス・ラボ 北陸銀行リテール推進部
11月	第7回道新資産運用フェア（札幌）	-
11月	①「山あり谷あり、楽しい株主優待人生」 ②「ライフプランセミナー～ゆとりある老後に向けた「資産運用」～」	桐谷広人氏（棋士・投資家） 北陸銀行リテール推進部

【オンライン】「ほくほくTT証券TV」によるマーケット情報を配信しています。



【対面型】

開催月	主なテーマ	講師
5月	HBC資産形成フェアin札幌 出展 【協賛セミナー】 新NISA元年 確認したい「商品選び」と「値動きとの付き合い方」 ～ゴールを意識した運用と行動コントロール～	東京海上アセットマネジメント 北海道銀行
7月	野村アセットマネジメント×QuizKnock お金を育てるキャラバン NISAを学ぼう in 北海道	野村アセットマネジメント
8月	相続・信託 個別相談会 in チ・カ・ホ	北海道銀行
11月 (2日間)	新NISAセミナー「どう喜んでNISA！NISA活用術」	三菱UFJアセットマネジメント
11月 (2日間)	★ほくほくTT証券共同出展 第7回道新資産運用フェア 【協賛セミナー】 “どうぞん”のNISAと相続のおはなし 【ブース】 北海道銀行の各種サービスやNISA等に関する個別相談	北海道銀行
11月	道新終活応援フェア2024 in オホーツク 【ブース】 相続・信託 個別相談	-
11月	資産運用フェア in チ・カ・ホ 簡単なゲームを通して、投資を体験してみませんか？	-
12月 (2日間)	北海道銀行×野村アセットマネジメント 資産運用セミナー ①2024-2025のマーケット展望 ②長期分散投資の有用性の再確認	野村アセットマネジメント
1月	相続税対策の新常識 ～新税制をふまえた相続と生前贈与のお話～	円満税理士法人
2月	北海道新聞社 人生100年時代の『お金と暮らしセミナー』～in 函館～ 【協賛セミナー】 “どうぞん”のNISAと相続のおはなし 【ブース】 北海道銀行の各種サービスやNISA等に関する個別相談	北海道銀行
2月	北海道銀行×ひふみ 小学生向けワークショップ ～投資家を体験してみよう～	レオスキャピタルワークス 北海道銀行

取組方針 5.ガバナンス体制の徹底

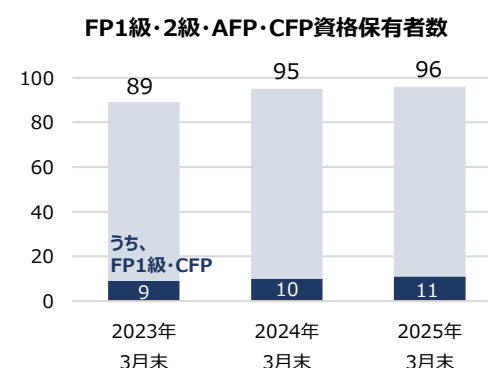
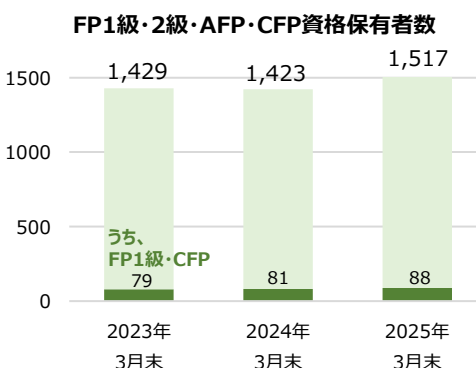
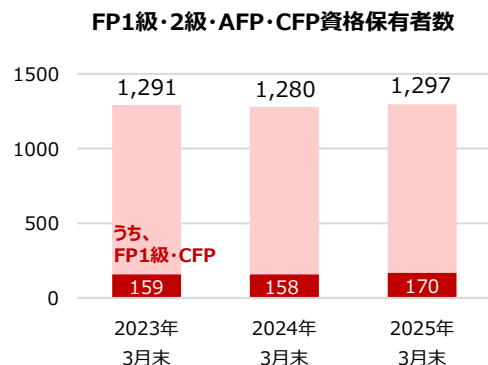
1. 商品・サービスについて、お客さまへの最適な金融サービス提供の実現に向け、職員に対する教育・研修を充実させ、人財を育成してまいります。
2. お客さまのライフステージ、ライフプランをよくお聞きし、最適なお提案・商品提供が実践されるよう、業績評価の見直しと改善を行ってまいります。
3. 商品選定時には、グループ会社の商品に捉われることなく、また利益相反にも留意しつつ商品を選定してまいります。
4. 本取組方針が遵守されているか確認するガバナンス体制を構築し、徹底してまいります。

実施事項

- (1) 継続的な行内外の研修を通じて、倫理観をもってお客さまのニーズ、ライフステージに応じた最適なお提案を実践するための価値観やノウハウの浸透を図ります。また、FP（ファイナンシャル・プランナー）等の外部資格の取得推奨により職員の知識・スキル向上を動機づけする人財育成に努めます。
- (2) 法令遵守の徹底およびお客さまの利益に資する適切な提案がなされるよう、業績評価体系の見直しを行ってまいります。
- (3) 商品選択時には、グループ会社の商品に捉われることなく商品を選定し、特にグループ会社の商品を選択する際は、「グループ内取引に関する規定」の手続きに従い利益相反に留意しつつ選定してまいります。
- (4) 従業員アンケート、モニタリング、監査機能等を活用して、お客さまに最適なサービス提供が組織的に実践できているかグループ内で定期的に確認し、改善に努めてまいります。

(1) 人財育成：FP資格取得者数（単位：人）

- 中期経営計画の重点戦略である「総合的なコンサルティング対応力の向上」に向け、外部資格取得を通じた人財育成に努めています。
- 職員の退職等により資格保有者数が変動しておりますが、継続して資格保有者増加に向けた取組を行ってまいります。



取組方針 5.ガバナンス体制の徹底

1. 商品・サービスについて、お客さまへの最適な金融サービス提供の実現に向け、職員に対する教育・研修を充実させ、人財を育成してまいります。
2. お客さまのライフステージ、ライフプランをよくお聞きし、最適なお提案・商品提供が実践されるよう、業績評価の見直しと改善を行ってまいります。
3. 商品選定時には、グループ会社の商品に捉われることなく、また利益相反にも留意しつつ商品を選定してまいります。
4. 本取組方針が遵守されているか確認するガバナンス体制を構築し、徹底してまいります。

(2) 主な実施事項

① 社内での人財育成について

- ・ 北陸銀行、北海道銀行では各行独自の「マネーアドバイザー（MA）認定制度」を運用してきましたが、両行相互にノウハウを共有し、より高度な金融サービスを提供する人財を育成するため、共通の認定制度として「プライベート ウェルス アドバイザー（PWA）制度」を新たに制定し、2025年度より運用を開始いたします。
- ・ ほくほく T T 証券では、資格取得支援制度の見直しを行い、資産形成コンサルタント資格（ABC資格）について新たに38名が取得。富裕層ビジネスへの理解向上および銀証連携強化のため東海東京インテリジェンスラボ開催の富裕層研修を計4回開催しました。

② 業績評価の見直しについて

- ・ 特定の商品に販売が偏らないよう、みなし手数料制度を導入し、グループ3社で評価体系を揃えています。
- ・ グループ3社では2024年度から共通のプロセス評価として、預り資産保有先フォローおよび富裕層顧客の実態把握を評価する「FD」項目を新設しました。

③ グループ会社間のガバナンスについて

- ・ 北陸銀行、北海道銀行がお客さまにほくほく T T 証券を紹介する際には、必ずお客さまから書面による同意をいただいたうえで、銀行と証券でお客さまとの情報共有をさせていただいております。
- ・ 新たな商品導入時にはグループ会社の商品に捉われることなく、また利益相反につながることをないよう経営陣の関与のもと検討しております。

④ 従業員アンケートの実施について

- ・ グループ3社の従業員にFDが浸透しているか確認するため、昨年度に引き続き、従業員アンケートを実施しました。
- ・ 昨年度と比較して、複数商品の比較説明、お客さまの最善の利益の意識の定着・改善が確認される一方で、お客さまへの「適切なタイミングでのフォローアップ」「保有商品に関する十分な情報提供」などの改善点も確認しました。改善点に関する対応を進めてまいります。

⑤ モニタリング態勢について

- ・ 銀行が証券会社の紹介を行ったお客さまについて、弊害防止措置や情報共有のルールが守られているか等のモニタリング項目を銀行・証券会社で共通化し、態勢強化に努めました。
- ・ お客さまに最適なサービス提供が組織的に実践できているのか検証、確認のために2024年度は北陸銀行、北海道銀行共通目線での「FDモニタリング」を実施しました。販売商品の偏重や短期間での契約消滅、販売量が一定の期間に偏っていないか等のFD目線での検証をおこないました。